

急速に進化するクラウド環境に大学はついていけるか ～特定のクラウドに依存しない最適な環境、継続的な改善を考える～

日時：2019年7月19日（金）

会場：Innovation Space DEJIMA

CAUAは10年前「大学はアウトソーシングを活用できるか？」というテーマで、クラウド時代の大学情報システムの在り方を積極的に取り上げ、システムの強化・効率化、統合・アウトソーシング・協同化について討議を行ってきました。

その後、システム更新にかかる費用と労力の削減のため、クラウドを積極的に導入する大学も増えてきましたが、利用が進むことにより見えてきた課題もあります。また、機械学習・データ分析の研究教育環境など、これまでとは異なるデータ管理の在り方、システム要求が発生しています。

今回のCAUAシンポジウムでは、クラウド利用が経営に与える真の影響とは何か、将来の改善のための評価方法について一緒に考えてみたいと思います。

開催日時

2019年7月19日（金） 13:30～17:30

* 受付開始 13:10

(情報交換会 17:45～19:15)

参加費

参加費無料

※講演資料集は、CAUA会員は無料、会員外は¥1,000（資料集は希望者のみ）

※情報交換会は会費制（CAUA会員・大学教職員…¥1,000、その他…¥2,000）

定員

60名（事前申込み制）

※教育機関の関係者および産学連携・人材育成に興味のある方
申込多数の場合、CAUA会員の方を優先させていただきます

お申込方法

[Web] <https://ctc-form.jp/public/seminar/view/1228>[eMail] caua-ad@ctc-g.co.jp 宛に「組織名」「氏名」をお送りください

持ち物

お名刺1枚

※ビル管理者への提出用として使用させていただきます

会場案内

Innovation Space DEJIMA

住所 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア13F

電話 03-5789-2350

URL <https://dejima.space/>

交通アクセス

- JR 大崎駅 東口 徒歩6分
- JR 五反田駅 東口 徒歩5分
- 東急池上線 五反田駅 東口 徒歩5分



プログラム

13:30-13:40	【オープニング】 深澤 良彰氏（早稲田大学 図書館長 理工学術院 教授、CAUA会長）
13:40-14:40	【基調講演】 「クラウドファーストの先に何があるか ～広島大学におけるクラウドの導入手順と今後の課題～」 西村 浩二氏（広島大学 情報メディア教育研究センター センター長） 組織におけるクラウド化の推進においては、本質を見失い、クラウド環境への移行そのものが目的化してしまうケースが見受けられます。本講演では、広島大学におけるクラウドの導入手順を例に、クラウド導入の本質と課題を再考します。
	休憩（10分）
14:50-15:50	【特別講演】 「クラウドテクノロジーの最新企業活用 ～マルチクラウドの統合と品質メトリクスの管理～」 山下 克司氏（日本IBM株式会社 グローバル・テクノロジー・サービス事業本部 技術理事） クラウドコンピューティング環境で仮想マシンが手軽に使えるようになって早や10年が経とうとしています。クラウド環境を利用するシステムはより高い柔軟性と拡張性をもともとめてコンテナやK8Sクラスターなどの新しいオーケストレーション環境も利用され始めている一方で、SlackやDropbox、WebExなどのパブリッククラウドサービスの利用も進んでいます。このセッションでは様々なレイヤーで構成されるマルチクラウドの統合と、クラウド時代になって大きく変化してきたクラウド上のサービス品質のメトリクス管理について論じます。
	休憩（10分）
16:00-17:20	【パネルディスカッション】 「急速に進化するクラウド環境に大学はついていけるか」 <コーディネータ> 安東 孝二氏（(株)mokha 代表取締役、CAUA運営委員長） <パネリスト>（五十音順） 阿部 政夫氏（政府CIO補佐官） 鈴木 浩充氏（東洋大学 情報システム課 課長、CAUA運営委員） 西村 浩二氏（広島大学 情報メディア教育研究センター センター長） 山下 克司氏（日本IBM株式会社 グローバル・テクノロジー・サービス事業本部 技術理事）
17:20-17:30	【クロージング】 只木 進一氏（佐賀大学 工学系研究科 教授、CAUA運営委員）
17:45-19:15	【情報交換会】（会費制） ※講師との質疑、参加者同士の情報交換の場としてお役立てください。 会費：CAUA会員、大学教職員…¥1,000. その他の方…¥2,000. 会場：Innovation Space DEJIMA